

いざ、そのとき

災害から
身を守る

災害は、いつやってくるかわかりません。明日やってくるかもしれない災害から身を守るためには、日頃からの備えが重要です。

☎総務課 防災危機管理係 ☎62-9326

土砂災害・水害から身を守る

昨年は西日本豪雨をはじめ、全国的にも大雨による被害が多く発生した年でした。

富士見町でも、9・10月に発生した2つの台風の影響により、八ヶ岳山頂付近で崩落、切掛川に土石流が発生しました。人的な被害はありませんでしたが、名勝「盃流し」が流失し、富士見高原ゴルフコースや下流の母沢川は甚大な被害を受けました。

倒木による停電も長引き、多くの町民が被害の影響を受けました。

●警戒レベルが5段階に変わりました

昨年7月の西日本豪雨被害を教訓として、皆様が避難に関する情報の意味を直感的に理解できるように、防災情報を「警戒レベル1～5」で表現することとし、取るべき行動がより明確になりました。

警戒レベル	住民の皆様が取るべき行動	避難情報等
警戒レベル5	すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動を取りましょう。	災害発生情報 災害が発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令 【町が発令】
警戒レベル4 【全員避難】	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難所まで移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示（緊急） 地域の状況に応じて緊急的または、重ねて避難を促す場合等に発令 【町が発令】
警戒レベル3 【高齢者等は避難】	避難に時間を要する方（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は避難をしましょう。その他の方は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・ 高齢者等避難開始 【町が発令】
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 【気象庁が発表】
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 【気象庁が発表】

※各種情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。
※「警戒レベル相当情報」が発表されたとしても、必ずしも同じタイミングで町から同じレベルの避難情報が発令されるとは限りません。

【警戒レベル5】では、すでに災害が発生しています。
また、必ず発令されるものではありません。
【警戒レベル3】や**【警戒レベル4】**で、地域の皆様で声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。

●情報発信の方法

町では、次のような方法で情報を発信します。発信される情報を積極的に収集し、適切な避難行動をとってください。

- ・防災行政無線
- ・有線(告知)放送
- ・町防災メール
- ・広報車
- ・緊急速報メール(エリアメール)
- ・テレビ、ラジオ

◀防災行政無線の放送をスマートフォンで
聞くことができるアプリの提供を開始しました▶

防災行政無線受信アプリ「ハザードラッド」

文字によって広報文の表示もされるため、耳が不自由な方にも、同じ情報が届くようになっています。

「App Store」
 iPhone/iPad
[はこちら](#)



「Google Play ストア」
 Android
[はこちら](#)



大規模災害に備える

大きな地震から身を守るため、一人一人が正確な知識を持つことが重要です。非常持ち出し品を用意する、ハザードマップを確認するなど、日ごろから災害に備えましょう。

地震はいつ発生するかわかりません。まずは、命を守ることを第一に考え、地震に備えるようにしてください。

●富士見町総合防災訓練を行います

災害発生時、最小限の被害にとどめるために、住民、自主防災会、行政機関及び防災関連機関が、緊密に連携して大規模災害に対応できるよう、実践に即した訓練を実施します。

【日時】 9月1日(日)
午前8時30分から

【会場】 富士見町役場周辺、
各区・集落組合の安否確認
場所



●自助・共助・公助の連携

防災には、「自助・共助・公助」の連携が重要であると言われています。

自助

自助は防災の基本です。自分の命は自分で守る、自分のことは自分で助ける、または、何とかする行動の事です。非常持出品や非常食を準備したり、家具の転倒防止対策をしたり、住宅の耐震補強をすることも重要です。

共助

自分一人で出来ることには限界があります。共助とは、自分や家族だけでなく隣近所などの小さなコミュニティ単位で、助け合う体制を構築し、災害発生時には実際に助け合う事を言います。大規模災害時には、同時多発的に救助を必要とする方がいるため、救助隊ばかりには期待できません。隣人同士で助けあうことが重要です。

公助

公的な防災活動の事を指します。災害発生時には、行政、自衛隊、消防、警察などによる救助活動、避難所開設、支援物資の支給などが行われます。また、平時からの防災備品の充実や耐震化工事や自主防災会に対する助成、防災情報の周知や広報などの取組も含まれます。

日頃の備えはできていますか？

この機会に、十分な備えがあるか確認しましょう。



○非常持出品の例

- 飲料水 (一人一日3リットルを目安に、3日分を用意)
- 食料品 (カップ麺、缶詰、ビスケット、チョコレートなど)
※アレルギーをお持ちの方は対応品の用意をしましょう。
- 貴重品 (預金通帳、印鑑、現金、健康保険証など)
- 救急用品 (ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)
- ヘルメット、防災ずきん マスク 軍手、手袋
- 懐中電灯 衣類、下着 毛布、タオル
- 携帯ラジオ、予備電池 使い捨てカイロ
- トイレットペーパー、ティッシュペーパー
- ウェットティッシュ 洗面用具 カセットコンロ

※非常に広い地域に被害が及ぶ可能性のある南海トラフ巨大地震では、「一週間分以上」の備蓄が望ましいとの指摘もあります。

※飲料水とは別に、物を洗ったり、トイレを流したりするための水も必要です。日頃から水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水をいつもはっておくなどの備えをしておきましょう。

防災ガイドブックを 活用しましょう

昨年「富士見町防災ガイドブック」を更新しました。

平成27年に県が公表している地震被害想定調査の結果が反映されています。災害に備え、ぜひご一読ください。

※お持ちでない方はお問い合わせください。

富士見町 防災メールへ 登録してください

スマートフォン・携帯電話のバーコードリーダーで下部のQRコードを読み取ってください。

※バーコードリーダーがない機種は、下記アドレスを直接入力してください。



<http://admj.biz/subscriber/?storeID=146>